

競 技 注 意 事 項

1. 本競技会は2024年日本陸上競技連盟規則と本大会申し合わせ事項によって行う。

(1) 競技用靴・靴底の厚さ(TR5.2) ※2024年10月31日まで

種 目	ソールの 最大厚さ	その他の要件/注意
フィールド種目(除:三段跳)	20mm	投てき種目と三段跳を除く跳躍種目に適用する。全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 (ハードル種目を含み、800m 未満の種目)	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (障害物競走を含み、800m 以上の種目)	25mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは、道路競技と同じ40mmとする。
道路競技(競走・競歩)	40mm	

※フィールド競技用靴においては、「靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない」の規定については、適用除外とするが、その他の規定(靴底の最大の厚さ)は遵守すること。

- (2) 招集所及び競技エリアに携帯電話・スマートフォン・タブレット等の通信機器や録画再生機器等を持ち込んではいけない。
- (3) 11月1日以降の競技場で行われる競技については、競歩を除いてすべて、20mm以下となる。

2. 招集(コール)について

(1) 招集時間(競技開始時刻前の下記時刻で行う。この時間帯に招集を完了できなかった場合は出場できない。)

	トラック	跳 躍	投てき	棒高跳
開始時刻	30分前	50分前	60分前	80分前
完了時刻	20分前	40分前	50分前	70分前

(2) 競技者は招集開始時刻までに招集所内で待機し、競技服装(アスリートビブス・トラック競技では腰ナンバーカードを付けている状態)になり、競技で使用するシューズのチェックを受ける。整列点呼後、招集所から各競技場所へは、競技者係の誘導によって、まとまって移動する。

(3) 招集に遅れた競技者は欠場したものとして処理する。

(4) 欠場する場合は、欠場届を招集開始時刻までに招集所の競技者係へ必ず提出すること。

(用紙はHPにあるものをダウンロードして利用する。)

(5) 招集の代理は認めない。ただし、招集時間帯に競技が行われる可能性がある場合には、**第一種目の招集完了時刻までに「多種目同時出場届」**を招集所へ提出すること。その際、アスリートビブス、ユニフォーム、第2種目のシューズのチェックを受けること。なお、第1種目は招集を受けなければならない。

また、ラウンド進出により招集時間帯に競技が行われる可能性が発生した場合には、すみやかに多種目同時出場届を招集所へ提出すること。代理をたてる必要はない。(用紙はHPにあるものをダウンロードして利用する。)

(6) リレー競技について

①オーダー用紙は、各ラウンドの**第1組の招集完了時刻の1時間前までに**招集所に提出すること。

(用紙はHPにあるものをダウンロードして利用する。)

②招集完了時刻前であっても、一度提出したオーダー用紙の変更・差し替えは認められない。

③一度オーダー用紙を提出した後の変更は、招集完了時刻までに総務に申し出たうえで、大会本部が任命した医務員の判断がない限り認められない。医務員の判断による変更は、出場選手の変更のみ認められ、走順の変更は認められない。

④オーダーメンバー全員が招集開始時刻には招集所内に待機し、点呼を受けること。他種目に出場していて、多項目同時出場届の提出が完了している場合は、代理の必要はない。

(7) 招集所から現地(スタートライン・跳躍ピット・投擲ピット)に行く場合、競技者係の指示に従うこと。

(8)混成競技において、2日間ともに、最初の種目については招集所にて行うが、2種目以降については、混成競技係の指示に従うこと。

3. アスリートビブスについて

必ず胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技は胸部または背部だけでよい。トラック種目では腰ナンバーカードをパンツの右側やや後方に付けること。なお、腰ナンバーカードは各校で用意すること。ただし、800m以上の種目と4×400mの腰ナンバーカードは主催者で準備する。(1番～8番を含む)

4. 運営方法について

(1) トラック種目はすべてタイムレースとする。1/100秒まで同タイムの時は、1/1000秒の単位で判定する。

(2) 800mは、120mでオープンとする。

(3) 競技運営上、ラスト1周で5000mは18分30秒、3000mは13分30秒、3000mSCは13分00秒、

男子5000mWでは35分、女子5000mWでは38分をこえる選手は審判長が競技を打ち切る。

(4) 男子5000m・女子3000mはグループスタートで行う。

(5) 3000m・5000m・5000mWは別ビブスを使用する。

(6) バーの上げ方 走高跳 男子 1.55-1.60-1.65-1.70-1.75-1.80 以降3cm ずつ

女子 1.25-1.30-1.35-1.40-1.45-1.50 以降3cm ずつ

棒高跳 男子 2.60-2.80-3.00-3.20-3.40-3.60 以降10cm ずつ

女子 2.00 以降10cm ずつ

混成競技 走高跳 男子 1.30-1.75までは5cmずつ 1.75 以降3cm ずつ

女子 1.10-1.45までは5cmずつ 1.45 以降3cm ずつ

(7) 高さ競技を除くフィールド競技においては、トップ8を行う。

(8) 走高跳・棒高跳の練習時の高さ及び、走幅跳・三段跳におけるカットラインは当日に跳躍審判長と主任で決定する。

(9) 女子三段跳び、7種走幅跳びは、バックストレート側のピットで行う。

(10) 投てき競技はすべてフィールド内で行う。いずれの種目の投てき練習も競技場所に入ってから審判員の指示に従って行うこと。これ以外の投てき練習は禁止する。

(11) 各自が持参した投てき用やりは検定を受けて使用する。

(**競技開始90分前から60分前までに器具庫前に持参すること。)**

(12) フィールド競技の試技制限時間

単独種目

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上※	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技※※	2分	3分	2分

混成競技

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上※	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人	2分	3分	—
連続試技※※	2分	3分	2分

※4人以上または各競技者の最初の競技は1分とする。

※※残っている競技者数が2名以上の時に適用し、走高跳・棒高跳では高さが変わった場合にも適用する。

(13) 学校対校は、各地区男女別学校対校とし、各種目の1位8点、2位7点・・・8位1点とする。

(14) 競技結果については、場内アナウンス及び、場内スクリーンで発表するとともに、大阪高体連1・2地区HP上に掲載する。なお、競技結果が場内スクリーンに表示され、場内アナウンスをされた時点を持って、正式発表とする。

5. 抗議について

抗議は日本陸上競技連盟競技規則により、当該校顧問から、総務員に口頭で申告し、総務員が審判長に取り次ぐ。

6. 表彰

表彰式は行わないが、各地区の男女総合優勝校には優勝盾(持ち回り)を授与し、各総合2位～6位に賞状を授与する。個人種目及びリレー種目は各地区別に各種目3位まで賞状を授与する。各自で玄関ホールに取りに来ること。

7. 補助員 8:00集合(メインスタンド下、室内練習場)

参加人数が5～9人以内の学校は1名、10～19人は2名、20人以上は3名の補助員を両日とも出すこと。参加人数が極端に少なく補助員を出すのが難しい場合は、役員受付時に係に申し出ること。清掃については、補助員割り当てを見て、確認しておくこと。

8. 競技場への入場について

入場は学校関係者のみとし、各校の顧問は入場者の把握を行ってください。

9. その他

(1) 競技会開始前及び競技中のトラックでの練習については、次のレーン区分を守り、周囲の動きに十分注意して行うこと。ただし競技会準備を優先し、競技役員の指示に従い、**練習は8時30分まで**とする。競技開始以降、室内練習場でのウォーミングアップ等をしてよい。ただし、招集所審判員の指示に従うこと。

(2) ホームストレートのみを使用してトラック競技が行われる際は、バックストレートを練習スペースとして開放する。ただし、投てき競技や跳躍競技の進行の妨げにならないように留意すること。

(必要に応じて、競技役員により使用可能区域を制限する。)

【1日目 10月26日(土)】※跳躍練習(幅・三・高・棒高)は、各ピットの現地競技役員の指示で行ってもよい。

長距離用周回練習:1・2レーン *ジョグはレーン外

短距離練習:ホームストレート3～7レーン、8レーン(100mHただし、混成競技出場者に限る)

400mH練習:女子は3レーン 男子は4・5レーン

バトン練習:コーナーからバックストレート6・7・8レーン

※練習後に必ず、マーカー(テープ)をはがすこと。*バトン練習は初日のみ

【2日目 10月27日(日)】 ※跳躍練習(幅・三・高・棒高)は、各ピットの現地競技役員の指示で行ってもよい。

長距離用周回練習:1・2レーン *ジョグはレーン外

ハードル練習:100mHは5・6レーン、110mHは7・8レーンとする。※レーン外で戻る。

直線での短距離練習:ホームストレート3・4レーン、バックストレート6・7・8レーン

コーナーからのスプリント練習:3・4・5レーン(第2コーナーからバックストレート)

※練習では余裕をもって長めに走り、戻る際には十分に安全確認をすること。

※26日(土)・27日(日)両日ともサブグラウンドはアップ場として開放する。

- (3) 競技者としてのマナーを守る。本部前は生徒の通行は原則禁止。ゴール後は本部前を通らないこと。また、トラック周囲を通行することは競技の妨げになるので、スタンド通路を通行すること。
- (4) フィールド芝生内への立ち入りは競技役員、補助員のみとする。
- (5) 危険防止・安全確保のため、日傘、折りたたみいす、大型のクーラーボックスなどの競技に支障をきたすものを、競技エリア内に持ち込まないこと。
- (6) メインスタンドには部旗等を掲げない。テントはメインスタンドおよびバックスタンド中段通路より上で、屋根のない所に設置する。
- (7) 貴重品・私物の管理は各校で責任を持つこと。盗難には十分に注意すること。
- (8) ケガ人が出た場合、本部で応急手当は行いますが、その後は各校顧問で処置して下さい。
- (9) ゴミはすべて持ち帰ること。
- (10) 駐輪禁止:点字ブロック周辺・正面階段前には自転車を止めないこと。HPを見て確認しておくこと。
- (10) 本大会の結果については、大阪高体連陸上競技専門部 webpage に随時アップデートするため、各自確認すること。
- (11) 撮影は許可証(1階本部で発行)を必要とする。撮影中は許可証をはっきりと見える位置に掲示したうえ、当該生徒のみ撮影すること。許可証は当日中に必ず返却すること。
- (12) 10/27(日)の開門抽選は26日(土)8:45~9:00の間に1階エントランスで行う。

◎本大会で使用した個人情報につきましては、本大会の目的以外に使用することはありません。